

第7回参議院議員通常選挙を顧みて

第7回参議院議員通常選挙（昭和40年6月1日任期満了によるもの）は、昭和40年6月10日に公示され同年7月4日執行された。

今回の選挙が行なわれた背景を見ると第48回通常国会では衆議院I.L.O特別委の強行採決をめぐる与野党の対立により衆議院の審議が一時停滞し、参議院でも本会議および委員会が開けない状態となった。このあと国会の審議は農地報償法案をめぐつてもつれ、このため、選挙の日どりが決まらず5月21日国会の会期延長後の閣議に至ってはじめて投票期日および公示日が決定された。

また、この選挙執行直前に公職選挙法の一部改正（昭和40年4月28日成立）が行なわれ、補充選挙人名簿調製の手続が改められたことはポスター掲示場の設置数増加とともに市区町村選挙管理委員会の事務に一層の負担がかかることとなった。

次に今回選挙において各政党間の争うべき政策とされたものは、日中貿易、日韓条約のほかベトナム問題、物価問題 経済不況など内外の重要課題が採りあげられたことであるが、与党、自由民主党にとっては昨秋佐藤内閣発足後初の全国選挙にあたるので、その体制について国民の信を問うことになる反面、野党側は如上の政策に対する批判をもって選挙にのぞいたのである。

ひるがえって、選挙関係者はじめ多くの有識者の間では本年が国民参政75周年、普通選挙制度施行40周年、婦人参政20年にあたるので、この選挙こそは明るく正しい選挙であるようにとの期待をこめてその実現へ強力な運動を展開したのである。このような真摯な努力にもかかわらず、全国的には相当数の選挙違反があり、特に事前運動、公務員等の地位利用による違反は世論の強い批判の対象となった。ただ、本県下において悪質の違反事例が比較的少なかったことは、多年に亘る選挙公明化への努力の現われといえるであろう。

選挙を終えてみると全国区、地方区ともに新人の進出が著しく新旧交代の顕著な兆をみる事ができる。これは参議院開設当初有力会派であった縁風会の後身二院クラブが解消し、新たに出現した公明党が11人を当選させ20の議席を得て参議院の有力政党となったこととともに今回選挙の特色であろう。

ともあれ、今回の選挙は従来にない激しさを加え、また管理面においても種々困難なものがあつたのであるが無事選挙の執行を了えることができたのは、一に市区町村選挙管理委員会の各委員ならびに職員その他関係各位のご努力ご協力の賜と深く感謝する次第である。

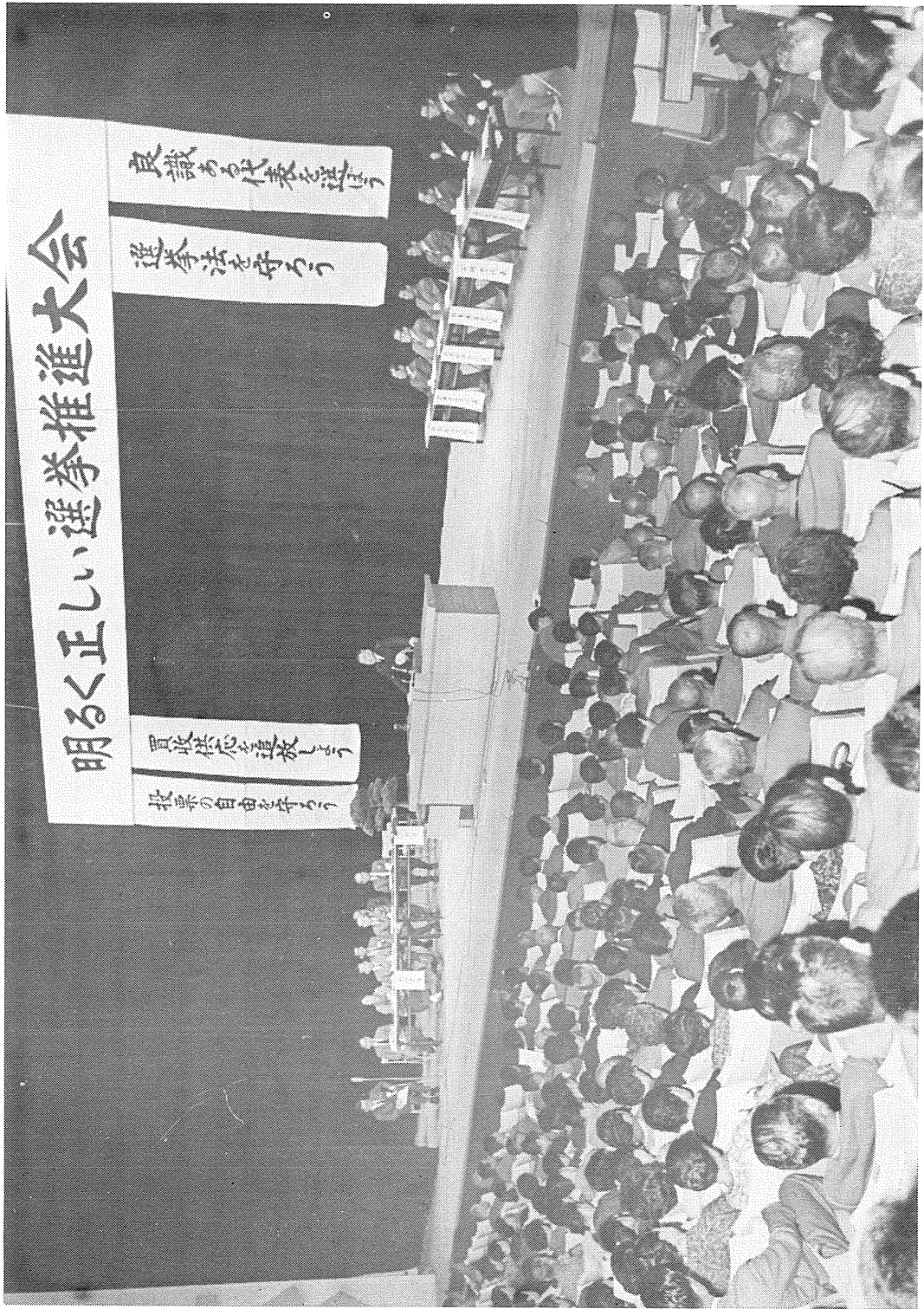
昭和40年11月

福岡県選挙管理委員会

付 記

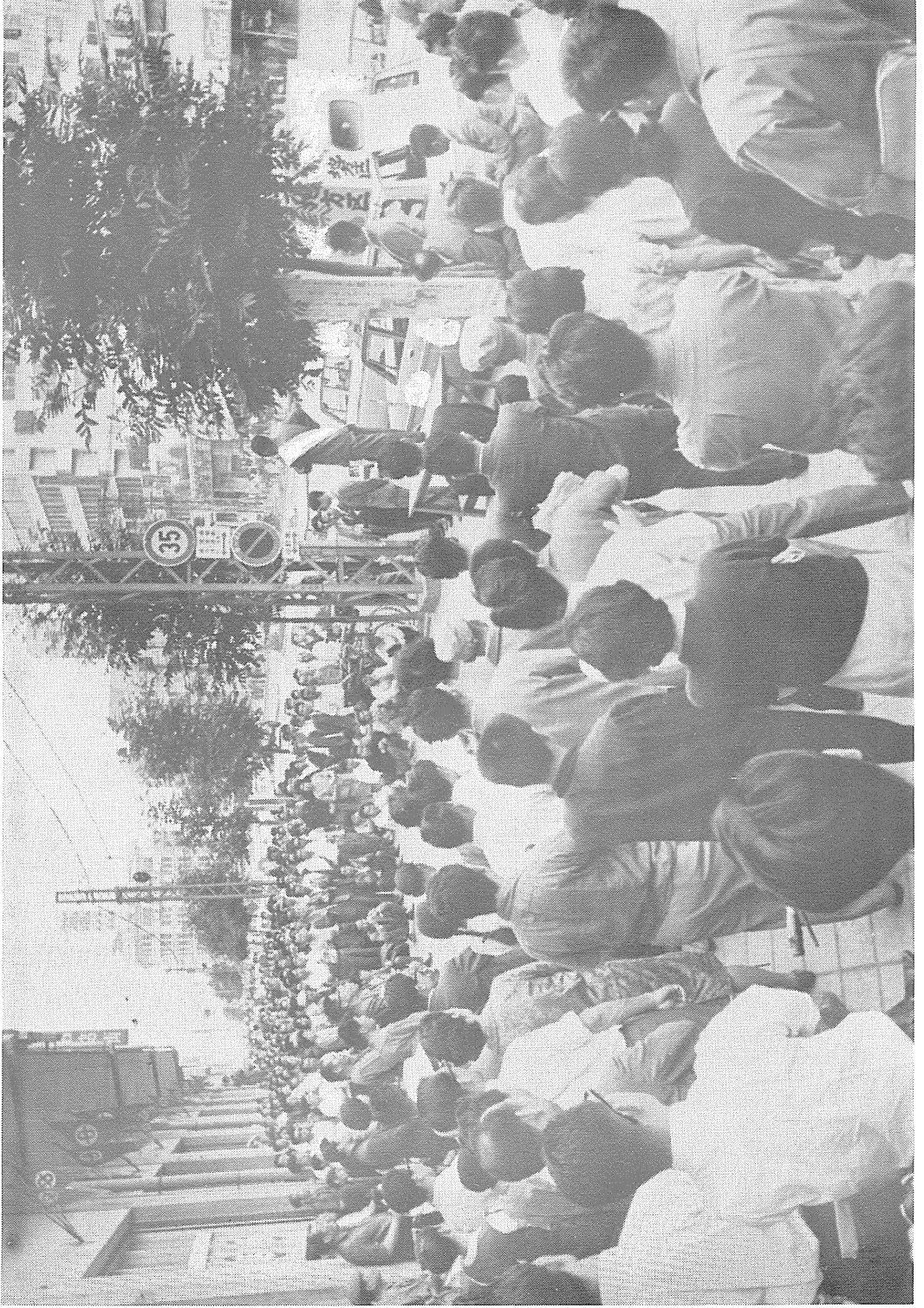
第7回参議院議員通常選挙の記録のほか次の各選挙についてもあわせて収録した。

1. 昭和39年8月6日執行 海区漁業調整委員会一般選挙
2. 昭和40年3月7日執行 福岡県議会議員補欠選挙（京都郡選挙区）
3. 昭和38年5月1日以降昭和40年7月4日までの間に行なわれた市町村の長および議会議員の選挙



昭和40年5月6日市民会館にて

(朝日新聞西部本社提供)



街頭演説を聴く人々

(夕刊フクニチ新聞社提供)



昭和40年7月4日立候補受付(県選管にて)(夕刊フクニチ新聞社提供)



県庁前大看板

(西日本新聞社提供)

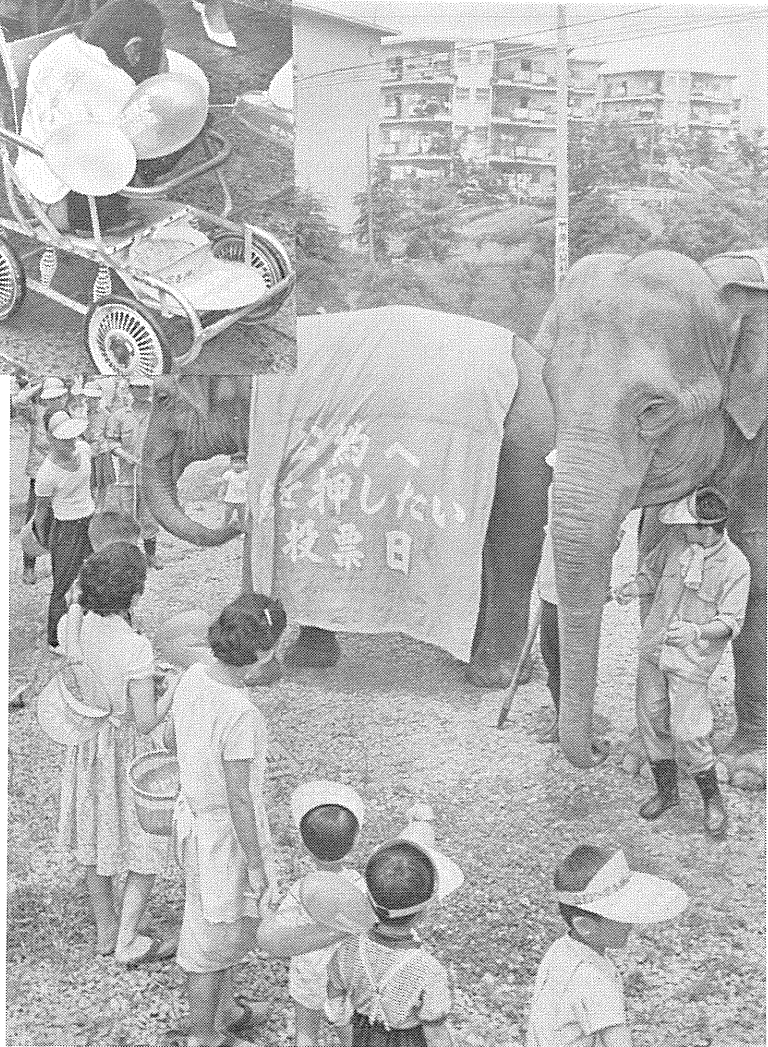


乗用車協会の協力を得てタクシーも啓発に一役 (夕刊フクニチ新聞社提供)



福岡市の都心天神でミス・オランウータンとミスター・チンパンジー君の明るく正しい選挙呼びかけ

(夕刊フクニチ新聞社提供)



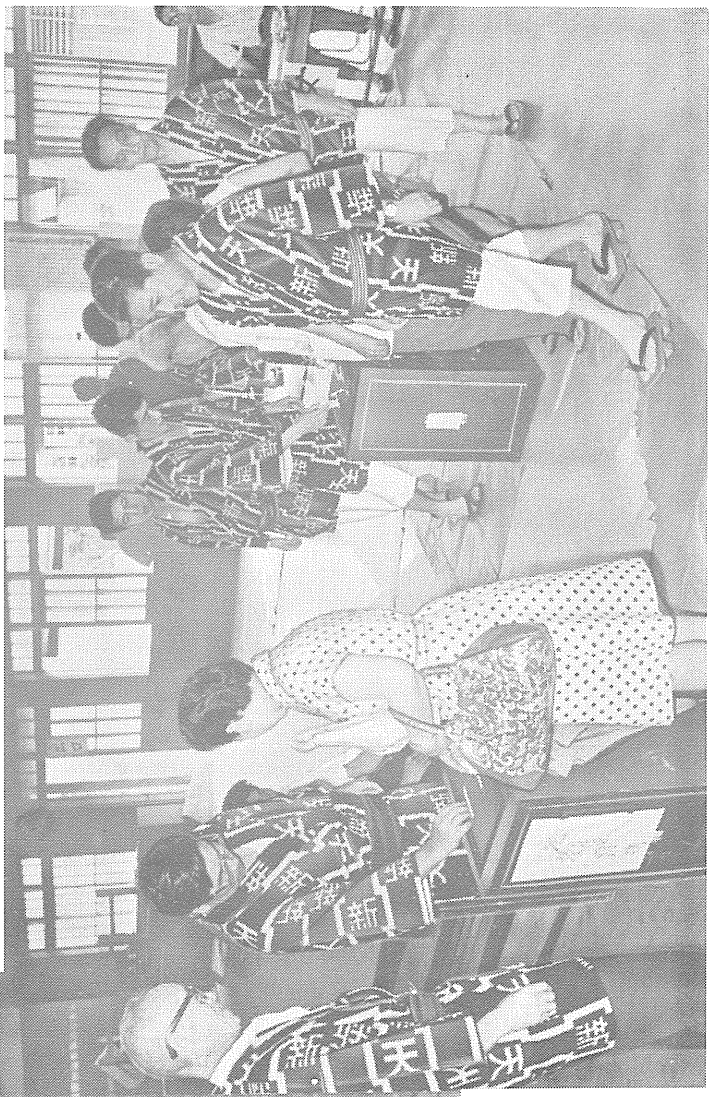
明るく正しい選挙を呼びかけて象君団地に行く

(夕刊フクニチ新聞社提供)



公営ボスター掲示場
(タ刊フクニチ新聞社提供)

楯圖山笠のはっぴ姿できよき一票(福岡市大名小学校)(タ刊フクニチ新聞社提供)



目 次

第一編 参議院議員通常選挙

第一章 福岡県選出議員選挙

1. 選挙長および同職務代理者調	1
2. 立候補者に関する調	2
3. 当選人に関する調	2
4. 選挙公報	3
5. 立会演説会開催計画、日時、会場および順序に関する調	11
6. 市郡町村別投票結果調	14
7. 候補者別開票結果調	20
8. 無効投票調	26
9. 選挙運動の法定費用額および収支報告の要旨に関する調	28

第二章 全国選出議員選挙

1. 選挙分会長および同職務代理者調	33
2. 市郡町村別投票結果調	34
3. 無効投票調	40
4. 候補者一覧表	42
5. 候補者別得票に関する調	52

第三章 資 料

1. 事務日程表	122
2. 当日有権者数調	136
3. 参議院議員通常選挙啓発対策要綱	142
4. 参議院議員通常選挙臨時啓発事業計画	145
(1) 啓発日程	147
(2) 啓発の概要	148
5. 選挙事務報告例による各種報告調	149
(1) 開票結果に関する調	149
(2) 選挙人名簿登録人員数に関する調	149

(3) 有権者数 投票者数及び投票率に関する調	149
(イ) 全国区	149
(ロ) 地方区	150
(4) 候補者の届出に関する調	150
(5) 党派別男女別新前元別候補者数に関する調	150
(6) 職業別候補者数に関する調	151
(7) 年齢別候補者数に関する調	151
(8) 選挙運動事務員の届出をした党派別候補者数に関する調	151
(9) 党派別男女別新前元別当選人数に関する調	152
(10) 職業別当選人数に関する調	152
(11) 年齢別当選人数に関する調	152
(12) 党派別男女別得票数に関する調	153
(イ) 全国区	153
(ロ) 地方区	153
(13) 落選人に関する調	153
(14) 投票総数 有効投票数及無効投票数等に関する調	154
(15) 有効投票に関する調	154
(16) 無効投票に関する調	154
(17) 仮投票に関する調	155
(18) 点字投票に関する調	155
(19) 代理投票に関する調	155
(20) 不在者投票の事由に関する調	156
(イ) 全国区	156
(ロ) 地方区	158
(21) 不在者投票の受理、不受理に関する調	160
(22) 不在者投票管理者別不在者投票に関する調	160
(23) 投票所に使用した施設に関する調	160
(24) 繰上投票の期日別投票区数に関する調	161
(25) 投票箱の送致に関する調	161
(26) 開票区に関する調	161
(27) 開票の期日に関する調	162
(28) 立会人に関する調	162
(29) 投票管理者及び投票所事務従事者に関する調	162

30	開票管理者及び開票所事務従事者に関する調	163
31	選挙長及び選挙会事務従事者に関する調	163
32	選挙公報に関する調	163
33	氏名等の掲示に関する調	163
34	ポスター掲示場設置に関する調	164
35	立会演説会の開催度数に関する調	166
36	立会演説会の演説者等に関する調	166
37	立会演説会の開催計画等に関する調	167
38	立会演説会に使用した施設に関する調	167
39	立会演説会の聴衆等に関する調	167
40	個人演説会の会場及びその使用度数に関する調	169
	(イ) 会場の数に関する調	169
	(ロ) 会場使用度数に関する調	169
41	新聞広告に関する調	169
42	推薦団体の届出等に関する調	170
43	推薦団体の推薦演説会周知用ポスター検印に関する調	170
44	政党その他の政治団体の政談演説会の開催日時に関する調	170
45	補充選挙人名簿の登録の申出者数に関する調	171
46	指定船舶における不在者投票に関する調	171
6.	参議院議員通常選挙開票状況速報実施要領	172
7.	開票開始時刻および終了時刻に関する調	200
8.	投票状況に関する調	202
9.	福岡県の戦後における各種選挙に関する調	206

第二編 海区漁業調整委員会委員一般選挙

1.	事務日程表	214
2.	選挙長および同職務代理者調	218
3.	候補者調	218
4.	当選人に関する調	222
5.	確定人員数調	224
6.	当日有権者数および投票結果調	226
7.	候補者別得票数等に関する調	228

第三編 福岡県議会議員補欠選挙（京都郡選挙区）

1. 事務日程表	232
2. 選挙長および同職務代理者調	240
3. 候補者調	240
4. 当選人に関する調	241
5. 当日有権者数調	244
6. 投票結果調	242
7. 候補者別得票数等に関する調	242
8. 無効投票調	243
9. 候補者の収支報告の要旨に関する調	244

第四編 市町村の長および議会議員の選挙

（昭和38年5月1日～昭和40年7月4日）

1. 長の選挙結果	247
2. 議会議員の選挙結果	257